



Europäisches  
Patentamt  
European  
Patent Office  
Office européen  
des brevets

※本資料は日本国特許庁が独自に作成した仮訳で、翻訳の正確性については何ら保証するものではありません。  
また、同時通訳音声では異なる訳となる可能性もあります。

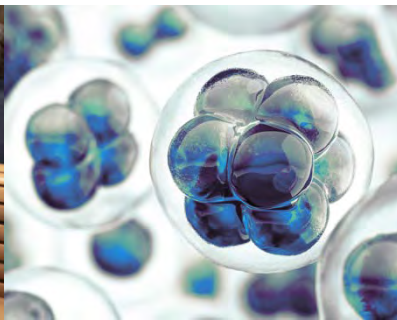
仮訳

# AI関連発明の特許審査実務に関する 国際シンポジウム

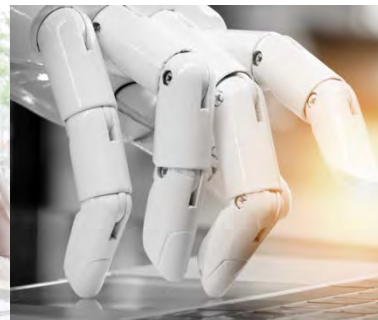
## 欧州特許庁における進歩性と記載要件の審査実務



Heli Pihlajamaa



Director, Directorate Patent Law



20 November 2019

# 欧州特許庁でのAI関連発明の審査

## 除外対象

- AIにおけるコンピュータのモデルとアルゴリズムは、それ自体が抽象的な性質である
- それ自体として請求項で記載されているとき、除外される
- 解決方法: 技術的手段
- コンピュータで実施される発明のための請求項の形式 (GL F-IV, 3.9)

## 新規性と進歩性

- 進歩性の判断のために考慮された技術的性質に貢献する全ての特徴 (T 641/00; GL G-VII, 5.4)

## AIの特許性

## 水力発電量推定システム

- 請求項1の主題は特許適格性から排除されない
  - 「さらなる技術的効果」が提供されている。
- 際だった特徴と同一視されるもの: 「ニューラルネットワーク」
  - 技術的 vs 非技術的特徴
- 「課題解決アプローチ」を用いる (GL G-VII, 5.4を参照)
- 先行技術の「回帰式モデル」を「ニューラルネットワーク」に置き換えることは容易に思いつく
  - 進歩性の欠如

## 水力発電量推定システム

- 請求項2は、追加の入力パラメータとして、ある所定期間の間の「上流域の気温」を導入する
  - － 追加の際だった特徴
- 「課題解決アプローチ」を用いる
- 水力発電の分野での当業者にとって、このパラメータを考慮に入れるようにすることはすぐにわかることであろうか？
- 進歩性の欠如（？）

## 発明の開示- 欧州特許条約第83条

- 出願は、当業者が実施することができる程度に明確かつ十分に、発明を開示しなければならない。
- 発明の詳細な説明は、発明を実施する方法を当業者に明らかにするために、発明を実施するために不可欠な特徴を十分詳細に開示しなければならない
  - クレーム化されたAI関連発明に応じて、基礎となるアルゴリズムおよび/または対応するトレーニングステップの開示が必要になる

# 付記

- AIにおいて特許適格性のある主題は、典型的に、以下のようなものに見られる
  - 新しい技術的実装
  - 新しい技術的応用物
- 一般的に、教師データは、開示の十分性についての要件を満たすために、開示される必要はない。



**Thank you for your attention!**

Heli Pihlajamaa

Director Patent Law / Dir. 5.2.1

Tel. +49 (0)89 2399-5210

[hpihlajamaa@epo.org](mailto:hpihlajamaa@epo.org)

<http://www.epo.org>